

電気自動車

EVの 実用限界に 迫る

日産リーフ、そして三菱アイ・ミーヴ……
いわば“第一世代”の車両たちも年式的
に5年落ちを超える個体も珍しくなくなっ
てきた。そうすると気になるのが劣化。ガ
ソリン車とはまったく違う「経年」にまつ
わるドキュメントに密着した。

まとめ：畑澤清志

バッテリー新品交換に
踏み切るオーナー増加中

事実上、日産リーフと三菱
アイ・ミーヴの独壇場となってい
る国内電気自動車（EV）市
場。静観していたトヨタがオリ
ンピックイヤーに向け新型EV
を投入すると表明してからと
いうものの、EV普及へ向け一
気には舵が切れそうな気配だ。
もはや特別な存在ではない
といつも、慣れ親しんだガソ
リン車から乗り換える対象と

しては正直ちよつと遠い存在な
のがEV。なかでも、走行距離
を重ねることによる「劣化」
については、普及台数の分母が
少ないこともあり、まだ未知の
部分は多い。
日本ではいちばん売れているE
Vといえば日産リーフだが、そ
れでも累計7万台少々。月に
1万台以上売れるプリウスなど
の比ではない。とはいえ、官公
庁向けの社会実験ではなく初
めて量販車として世に出たE
Vであるリーフ。最初期型は車

実録

日産リーフの バッテリー交換作業に密着



作業を一時休止し、工程の一部を
特別に見学させていただいた。作業
場には立ち入り不可のディーラーも
あるので要注意。



バッテリーがごとりと外された状態。降雪地域の車両
の場合は、ボルトとナットが固着している場合が多く
と手間多くかかる。

